



T-1グランプリ「ピクトグラムで伝えよう」

～生徒オリジナル作品をご覧ください～

2年生が、美術の時間に制作した「ピクトグラム」の優秀作品が、南館3階階段に掲示されています。子どもたちのとても豊かな発想が生かされ、ユーモアあふれた作品となっています。そもそも「ピクトグラム」とは、

(絵文字や絵言葉などと言われ、図記号の一種である)

- ・1960年代以降、視覚言語として世界的に注目された。
- ・伝えたい情報をシンプルなマークにして表現するのが特徴。
- ・さまざまな国の子どもから大人まで誰にでもわかりやすいデザインとなっている。

と示されています。

今回2年生は、オリジナルのトイレ表示を考え、ピクトグラムで表現しました。そして、校舎内の一部のトイレ表示も、生徒作品ピクトグラムに変更されています。12月保護者会の折には、ぜひご覧いただきたいと思っております。



新型コロナウイルス感染症への差別や偏見はやめましょう！

毎年、12月4日から10日を入権週間、そして最終日の10日を入権デーと定め、差別やいじめがなく、思いやりあふれる社会についてみんなで確かめ合う期間となっています。今年は、新型コロナウイルスにかかわる差別やいじめによって、つらく悲しい思いをする人や心を痛める人がおり、入権が損なわれるできごとが起きています。

先日、岩田小学校は臨時休校となり、子どもたちや保護者・地域のみなさんは大変つらい思いをされました。そして、心配なことはその後の差別やいじめ…。その心配な思いを岩田小 鈴木常浩校長先生は、次のように全校児童に訴えかけました。私たちも学ばせていただく大切なメッセージです。

全校のみなさん、おはようございます。今日は、とても大切な、そして全校のみなさんにわかってほしいことがあるので、特別にテレビ放送を流します。

みなさんも知っているように、岩田小学校のお友達の中に、家族からコロナウイルスに感染してしまった人がいることで、臨時休業となりました。この病気はいつどこで感染するかわからない感染症で、そのお友達には全く責任のないことです。

今日は、3つのクラスの子たちが登校できていないので、感染したお友達のいるクラスは想像できてしまうかもしれませんが、感染してしまつた子の近くにおいて、感染が心配される子は、すべてきちんと検査を受けているので、それ以外の子や兄弟関係などで心配する必要は全くありません。

だから今回のことを話題にして、誰が感染者なのかと探すような発言や、感染しているかもしれないなどと噂をしたりすること、さらにSNSなどでそんなやりとりをしたりすることは、絶対あつてはなりません。今回のことで、ただでさえいやな思いや不安に思っている子がたくさんいるのに、さらに周りの子の言動で、もっともつと心を痛めてしまうようなことは絶対にやめてください。

今日お休みしている子が登校してきたときは、温かく迎えてあげてください。そして、岩田小学校の全員が仲良く安心して過ごせるように、岩田小全員で協力してください。